

事務事業名		天龍峡保存管理計画推進管理事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		生涯学習・スポーツ課		H28係等名	文化財保護係		H27係等名	文化財活用係	
基本計画上の位置づけ		政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり					
		施策	63	地域資産の保存・継承					
目的	対象(誰・何を)	名勝天龍峡指定地						指標名及び単位	27年度数値
	意図(どういう状態にするか)	保存管理計画に基づき、名勝天龍峡を適正に管理する						対象指標	236305
	向上させたい上位施策の成果指標	保存・継承している地域資源の数							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	整備事業等における不適格事案件数			0	0	0	-	
	定性目標								
事業概要	<p>・天龍峡は昭和9年に国の名勝に指定されて以来、飯田市の観光のシンボリックな存在であった。その間、船の発着所・遊歩道・吊り橋・ホテルなどの施設整備されてきたが、過去発生し続けている崖の崩落や落石により、適切な保存管理が難しくなってきた。</p> <p>・平成21年度に観光課とともに、文化庁・長野県教育委員会の指導を受け、保存管理の指針となる名勝天龍峡保存管理計画及び公開活用の指針となる整備計画を策定した。</p> <p>・本事業は、保存管理計画に基づき指定地内での整備計画の実施及び公共事業等の開発行為による現状変更等が適切に実施されるように調整・指導する。</p>								
27年度事業内容	事業内容				名称			活動指標	
	<p>1 保存管理計画に基づき、適切な保護協議を実施</p> <p>2 名勝天龍峡に係わる文化庁及び県教育委員会との保護協議の実施</p> <p>3 文化庁文化審議会名勝委員会への整備計画進捗状況報告</p> <p>4 名勝天龍峡整備検討委員会での調整(整備内容の検証を含む)</p> <p>5 必要に応じ、名勝天龍峡保護活用協議会の開催</p>				<p>1 保護協議回数</p> <p>2 保護協議回数</p> <p>3 報告回数</p> <p>4 委員会回数</p>			<p>1 3回</p> <p>2 4回</p> <p>3 2回</p> <p>4 5回</p>	
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		0	0	0	0				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源									
人件費計(千円)②		1,430	/	1,430	/				
正規職員所要時間		400		400					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		1,430	0	1,430	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>遊歩道等の整備に関しては地元ワークショップで意見交換を行うとともに、整備の詳細は整備検討委員会を開催し検討を行った。施工にあたっては工事立会を実施しており、保存管理計画に定めた取扱い基準の不適格事案は発生しなかった。一方、事務処理において、不適切な事案ではないものの処理が遅滞しており、主管課と十分な意思疎通を行う必要がある。</p>								
改革改善の考え方	①問題点	個々の整備は保存管理計画の取扱い基準には適合しているものの、整備の質を向上させ、より魅力的な景観にするためには、部材の選択や樹木の伐採についても委員会でも詳細に検討する必要がある。							
	②改革提案	委員会での検討課題は、フォトモンタージュでイメージしやすくするなど工夫し、事務局内で十分検討を行う。また、整備では部材の実見や現地確認を行い、整備後は改めて現地検証し、改善点を洗い出して次なる整備に活かしていく。							